

承認	議長	副議長	事務局長	総括参事	合議	担当
					 	

様式第 1 号

2024 年 12 月 12 日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議会議員 古南源二



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

真庭市西河内オール真庭本部

大阪府高槻市真庭市場・守山市真庭市場

大阪府箕面市彩菜みまさか箕面彩都店

3 内 容

オール真庭の変遷と現地視察・美作市の直販店の取り組み状況
の調査研究

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要

・ 不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

オール真庭勉強会 & 現地視察									
12月23日	10：00～11：30	車移動	14：00～14：45	車移動	16：15～17：00	宿泊：大津市内			
	オール真庭本社で研修		高槻店視察		守山店視察		α 1 大津		
12月24日	9:00	10：00～11：30	車移動	14:30					
	出発	彩菜みまさか箕面彩都店			帰着				

参加者: 中尾哲雄、古南源二、伊藤義則以上3名

宿泊先: ホテル・アルファワン大津

滋賀県大津市梅林2丁目6-28 電話: 077-523-6677

報 告 書

2024年12月27日

真庭市議会議長 小田康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 伊藤義則



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究、研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 2024年12月23日 <u>(午前)</u> ・午後) 1時00分 至 2024年12月24日 (午前)・ <u>(午後)</u> 3時00分
2 場 所	12月23日オール真庭本社、高槻店、守口店 12月24日彩菜みまさか (箕面) ----- -----
3 用 件	12月23日(株)オール真庭 田中本部長、竹本部長からオール真庭の仕組み・特徴・課題をお聞きし、高槻店と守口店を調査研究した。 12月24日彩菜みまさか (箕面) の見学
4 概 要	参加者 中尾哲雄、古南源二、伊藤義則 ----- ----- ----- ----- -----

報告書（継紙）

（オール真庭）2021年度現在	
○施設	市内8施設と市外2店
○売上高	8.9億円(市内6.5億円、市外2.5億円)
○株主	十字屋グループ、真庭市、JA晴れの国岡山、蒜山酪農協、道の駅醍醐の里、道の駅風の家運営会社、八束ふるさとふれあい特産館、ひまわり館
○主な事業	・直売所間流通の配送作業受託
	・大阪府と滋賀県での真庭市産農産物販売
	・カット野菜、野菜苗の販売
○特徴	組織にJAが3か所入っている。
○令和5年度市外2店舗の売上高	高槻店2億円、守山店0.8億円
・高槻店	JR高槻駅と阪急高槻駅を結ぶ通路（自転車、徒歩）に位置する。 売場面積32坪、バックヤード4坪で野菜を半分にカットしている 店長「野菜がもっと欲しい」「今日も開店に30人並んでいた」 「午後になるとお客様が新鮮野菜がなくなることを知っている」 確かに我々が到着した14:30に店内に15人位お客様がいた。 家賃は40万円強/月、手数料30%だそうです。 一部加工商品があったが、圧倒的に生鮮野菜と一部果物だそうです。 シャインマスカット（冷蔵庫出荷）が2,980円であるだけ 売れるそうです。阪急高槻駅を利用している友人が「いつも混んでいるよ」とのこと。
・守山店	ALPLAZAというショッピングセンターの専門店街の一角にある 約35坪のインショップです。高槻店と違い、生鮮野菜・果物は 少なく、真庭市の加工商品と健康食品が主力のようでした。 猪肉は入荷次第売れるそうです。米粉、はったい粉、そば粉も よく売れるそうです。お米は高槻店が3kgがメインに対して、 守口店は、時には30kgが売れるそうです。真庭市は加工商品が 少ないため、北海道・岡山市他の加工品が面積を占めていた。 JAを含めてもう一度商品構成を見直すべきでは。

【課題】①POS データで明らかになった「売れる品目」を生産に反映する仕組みが必要である。

②売れ残るリスクのため、積極的な生産・出荷の提案が難しい。

③週 2 回、手作業で売上数量・平均容量(商品の個数、グラム等)、平均売価・在庫数のリストを手作業で作製配布している。←手間とコストがかかる

④仕入れデータがないので、毎日のほぼリアルタイムの売上数、在庫数、売価をスマホ等で提供出来ない。

⑤現在のシステムが両備システムズの撤退のため、2 年後にはシステム変更をしないといけない。(OS が古いウィンドウズ?)

現在農業振興課には問い合わせをしているとのこと。

→たぶんクラウドシステムになると思いますが、「オール真庭」「農業振興課」「システム会社」と出品者・オール真庭・お客様が全て WIN—WIN の関係になるようなシステムを作って頂きたい。

○彩菜みまさか (箕面)

・名前の付け方、店内レジから JA さんの直売所だと類推されます。

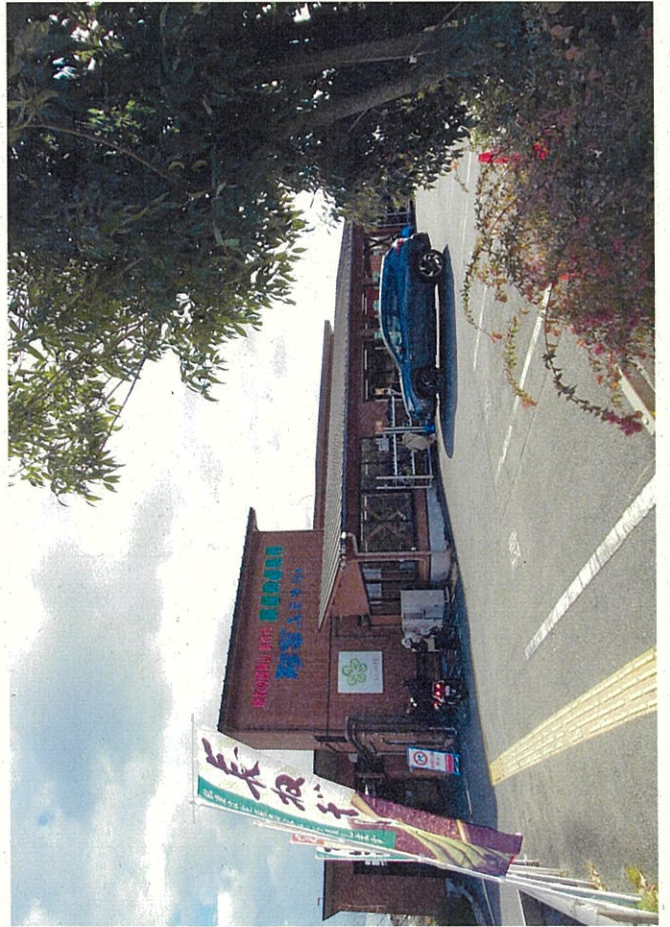
・売場面積 150 坪、店舗面積 200 坪(類推)、店舗前駐車場 10 台、第 1 駐車場 20 台、第 2 駐車場 40 台

・真庭の日本酒、羊羹、蒜山の乳製品、そばも売っていました。

・圧倒的な人口(13.7 万人)、人口密度(2,876 人/km²)を背景に JA さんが力を発揮するとこんな直売所ができるんだと思いました。

店内には精米所もありました。

真庭市は JA さんとの協業が下手すぎるとも思いました。



報 告 書

令和 6 年 12 月 31 日

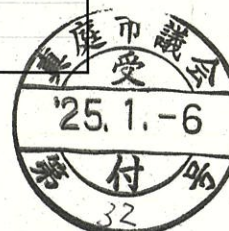
報告者 真庭市議会議員 氏名 古南 源二 

下記のとおり政務活動費を使用して調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和 6 年 12 月 23 日 (午前・午後) 10 時 00 分 至 令和 6 年 12 月 24 日 (午前・午後) 3 時 00 分
2	場 所	真庭市西河内オール真庭本社 ----- 大阪府高槻市高槻町 14-20 高槻真庭市場 ----- 滋賀県守山市播磨田 185-1 守山真庭市場 ----- 大阪府箕面市彩都市栗南 1 丁目 16-18 彩菜みまさか彩都店
3	用 件	オール真庭の変遷と現地視察・美作市の直販店の取り組み状況の調査研究 ----- ----- -----
4	概 要	参加者：中尾哲雄、古南源二、伊藤義則以上 3 名

オール真庭本社で高槻真庭市場の開設経緯から現状までの説明を受け、現地で視察調査を行った。

12月23日	10:00~11:30	車移動	14:00~14:45	車移動	16:15~17:00	宿泊：大津市内
	オール真庭本社で研修		高槻店視察		守山店視察	α 1 大津
12月24日	9:00	10:45~11:40	車移動	15:00		
	出発	彩菜みまさか箕面彩都店		帰着		



内容：オール真庭の前身は、平成 21 年 7 月に小規模農家の支援事業としてスタートした。平成 24 年 8 月からは市内の直販店から集荷をして、大阪高槻市内の「真庭市場」に運んで農産物を販売していた。^{真庭市場の入るスーパーモリーブ}。この店の移転で月に 100 万円ほどの売り上げがあった。現在の店に移転になったのは平成 25 年 9 月である。36 坪の店舗で販^{高槻店バックヤード}ている。平成 28 年には（株）オール真庭に引き継がれて、令和 1 年には滋賀県守山市内のスーパーマーケット「モリーブ」の一角に第 2 店舗を構えている。スーパーの支配人の要請で出店した。産直品だけでは売り上げが伸びない。果物・冬場の葉物野菜が少なく仕入れ品を置かなければならない状況。令和 5 年度の売り上げは高槻店 2 億円守山店 0.8 億円である。



高槻店

2 年後には現在の両備システムを利用した POS システムが更新できなくなるため、検討中である。現在のシステムはレジを通過すると売り上げ状況が出荷者にメールとして届く、これは出荷者にとって大変ありがたいことであり、このサービスを維持できるシステムを出荷者は望んでいる。



高槻店では、午後の視察になり、店には 10 名程度の客がいた。生鮮野菜は半分以上売り切れていた。やはり冬場の野菜の入荷が少ないようでした。真庭市の広報誌を持ち帰るお客も相当数居るようで、真庭市の広報宣伝はできているように感じた。

守山店はスーパー「モリーブ」の一角に設置されており、生鮮野菜はスーパーにもあるので新鮮さを購買客にアピールしている。イノシシ肉がよく売れている状況で品切れ



には少しびっくりした。加工品には固定客もいるようでそれなりの販売状況である。

来店中に数名の来客があった。3名¹ 彩菜みまさか彩都店入口付近。

光パンフレットを通

じて真庭に興味を持ってくれているお客がいることも確認できた。

箕面市にある彩菜みまさか彩都店の様子を見た。駐車場を数か所設けており、ガードマンが駐車場の整理をしていた。店舗面積も開設当初より増築しているようだった。高槻店よりはるかに大きく、数十人の客が来店しており、活気がうかがえた。

商品はきれいに陳列されており、特に花卉類は品質が洗練されていた。商品の荷姿は非常にきれいであり店舗内の通路も広くとっている。



市内の生産者も家の残り物を出荷するにしても、もっと良心的に良い商品を出荷するように心がければもっと人気上がるのではないかと感じた。高槻店、守山店の従業員そして出荷者は、「みまさか彩都店」を見に行き参考にするべきと感じた。

出会った人

まにわいちば
Enjoy foods from Okayama

株式会社 オール真庭 本部長(執行役員)

田中 智行
Tomoyuki Tanaka

■本社 〒719-3145 真庭市西河内090-43 TEL/FAX 0867-45-0228
Mail all.maniwa001@gmail.com

まにわいちば
Enjoy foods from Okayama

株式会社 オール真庭

木村 智
Satoshi Kimura

■本社 〒719-3115 岡山県真庭市中429-1 TEL/FAX 0867-45-0228

まにわいちば
Enjoy foods from Okayama

株式会社 オール真庭 守山店 店長

塚原 こずえ
Kozue Tsukahara

〒524-0012 滋賀県守山市播磨田町185-1 モリーブ 1F
TEL/FAX 077-598-0991

まにわいちば
Enjoy foods from Okayama

株式会社 オール真庭 守山店 副店長

井上 友里
Yuri Inoue

〒524-0012 滋賀県守山市播磨田町185-1 モリーブ 1F
TEL/FAX 077-598-0991



報 告 書

令和7年1月6日

報告者 真庭市議会議員 氏名 中尾哲雄

下記のとおり政務活動費を使用して調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和6年 12月23日 (午前・午後) 10時00分 至 令和6年 12月24日 (午前・午後) 3時00分
2	場 所	真庭市西河内オール真庭本社 大阪府高槻市高槻町14-20高槻真庭市場 滋賀県守山市播磨田185-1守山真庭市場 大阪府箕面市彩都市栗南1丁目16-18彩菜みまさか彩都店
3	用 件	オール真庭の変遷と現地視察・美作市の直販店の取り組み状況の調査研究
4	概 要	参加者：中尾哲雄、古南源二、伊藤義則以上3名

オール真庭本社で高槻真庭市場の開設経緯から現状までの説明を受け、現地で視察調査を行った。

12月23日	10:00~11:30	車移動	14:00~14:45	車移動	16:15~17:00	宿泊：大津市内
	オール真庭本社で研修		高槻店視察		守山店視察	α1大津
12月24日	9:00	10:45~11:40	車移動	15:00		
	出発	彩菜みまさか箕面彩都店		帰着		



内容：

(感想)

- ・ 冬場、白菜、ネギ、キャベツは旬の野菜であるが、正午すぎには売切れで、もう少し量があれば良いと思う。
- ・ 冬場、果実がないのが気がかり。
- ・ 彩菜みまさか箕面彩都店に比べ、品物の品が少し劣るように思えた。
- ・ 大変多くの客や売上で頑張っておられた。

中尾哲雄



株式会社 オール真庭 本部長(執行役員)

田中 智行
Tomoyuki Tanaka

■本社 〒719-3145 真庭市西河内696-43 TEL/FAX 0867-45-0228

Mail all.maniwa001@gmail.com



株式会社 オール真庭 部長

竹本 正義
Masayoshi Takemoto

■本社 〒719-3115 岡山県真庭市中429-1 TEL/FAX 0867-45-0228

Mail maniwaichiba@maniwonet.jp



株式会社 オール真庭

木村 智
Satoshi Kimura

■本社 〒719-3115 岡山県真庭市中429-1 TEL/FAX 0867-45-0228



株式会社 オール真庭 守山店 副店長

井上 友里
Yuri Inoue

〒524-0012 滋賀県守山市播磨田町185-1 モリーブ 1F

TEL/FAX 077-598-0991



株式会社 オール真庭 守山店 店長

塚原 こずえ
Kozue Tsukahara

〒524-0012 滋賀県守山市播磨田町185-1 モリーブ 1F

TEL/FAX 077-598-0991

令和6年12月10日

あぐりネットワーク推進事業について

1 事業内容（別紙のとおり）

- （１）「まにわ園芸相談員」による営農指導
- （２）市内直売所間での農産物の相互輸送
- （３）「真庭市場」による販路拡大

2 あぐりネットワーク推進協議会の会員

- （１）真庭市 （２）真庭農業協同組合 （３）びほく農業協同組合
- （４）蒜山酪農農業協同組合 （５）道の駅「風の家」 （６）ふるさとふれあい特産館
- （７）ひまわり館 （８）ＪＡまにわ「健康の里」 （９）ふれあい即売センター
- （１０）道の駅「醍醐の里」 （１１）コスモスの里特産品ふれあいセンター
- （１２）ＪＡまにわ「きらめきの里」 （１３）岡山県立真庭高等学校
- （１４）株式会社オール真庭

3 主な経過

平成21年7月 「まにわ園芸相談員」を設置し、小規模農家支援事業をスタート。

平成23年5月 「真庭あぐりネットワーク推進協議会」を設立。

- | | | |
|----|---|------------------|
| 目的 | { | ・全市的な直売事業への意識醸成 |
| | | ・市内の直売所の南北間移動を実施 |
| | | ・大都市圏における販売拠点の創出 |

京阪神地域での販路開拓に向けて、出店場所の選定に着手。

平成23年7月 市内3直売所で週2回の流通事業を開始。

平成23年9月 大阪府高槻市で1か月間のテスト出店。 月600万売上

平成24年8月 ＪＲ高槻駅前に「真庭市場」本格オープン。 36坪

平成25年9月 現在の場所に移転オープン。

平成28年7月 「真庭市場」を（株）オール真庭に事業譲渡。

令和1年6月 滋賀県守山市に「真庭市場2号店」をオープン。

4 令和5年度販売額

- （１）真庭市場（大阪府高槻市） 約2.8億円（高槻店2億円・守山店8千万円）

真庭市場 高槻店

差出人: 株式会社オール真庭
送信日時: 2024年10月27日日曜日 19:18
宛先:
件名: [2024/10/27]

■高槻店

00000000003315	シャインマスカット	@1,700	1	¥1,700
00000000003315	シャインマスカット	@1,780	1	¥1,780
00000000003315	シャインマスカット	@1,900	1	¥1,900

* 小計 * 3 ¥5,380

■守山店

00000000003315	シャインマスカット	@1,080	1	¥1,080
----------------	-----------	--------	---	--------

* 小計 * 1 ¥1,080

* 合計 * 4 ¥6,460

※単価は値引も考慮しています。



【12月20日(木)晴】

12月21日(金)曇 販売分】

順位	商品名	数量	平均容量	平均単価	在庫	順位	商品名	数量	平均容量	平均単価	在庫
1	白ねぎ	532	2~3本	170	残り28個	49	えび餅	18		750	無し
2	ゆず	323	-	150	無し	50	もち	18	-	550	無し
3	大根	220	1本1キロ以上	150	無し	51	松	18		260	残り7個
4	ほうれん草	151	200g~300g	180	無し	52	タアサイ	17	1株	140	無し
5	白菜	149	1玉	200	無し	53	パクチー	17		160	無し
6	ベビーリーフ	137	50g	140	無し	54	みぶな(壬生菜)	17	-	150	無し
7	クレソン	123	150g	130	無し	55	干し柿	16	-	2,190	残り15個
8	じゃがいも	111	600g~700g	220	残り10個	56	からし菜	15	200g	120	無し
9	かぼちゃ	105	100g 当たり23円	190	残り12個	57	乾燥落花生	15	350g	360	残り32個
10	里芋	98	500g~600g	310	残り8個	58	柿	15	-	250	無し
11	花卉	98	品種名の記入を	240	無し	59	かぼす	15	-	150	残り2個
12	きくいも	97	450g	250	残り50個	60	にんにく	14	100g	250	残り18個
13	花ゆず	77		130	無し	61	みかん	14	-	300	無し
14	かぶ	75	大2個中3個	160	無し	62	セロリ	13	250g	170	無し
15	春菊	75	100g	160	無し	63	黒ニンニク	13	90g	480	多い
16	キウイフルーツ	68	-	280	残り48個	64	乾椎茸	13	-	670	多い
17	生椎茸(菌床)	68	200g	310	残り4個	65	小松菜	12	300g	140	無し
18	下仁田ねぎ	67	2~3本	230	多い	66	サニーレタス	12	250g	120	無し
19	白餅	61	650g	700	多い	67	とうがらし(辛い)	12	200g	220	多い
20	菌床しいたけ	53	-	200	残り4個	68	ピオーネ	12	100g 120円	450	無し
21	ニンジン	48	500g~550g	160	無し	69	菊	12	-	240	無し
22	水菜	47	200g~300g	130	無し	70	小豆	12	250g	500	多い
23	玉ねぎ	43	700g	180	無し	71	とうがらし味噌	11	200g	220	少ない
24	ミニニンジン	43		150	無し	72	わさび菜	11	150g	120	無し
25	小かぶ	41	3~4個	130	無し	73	銀杏	11	200g	290	非常に多い
26	紅はるか	41	1kg380円	220	非常に多い	74	すだち	11	3個	140	残り1個
27	干し芋	41	-	370	残り36個	75	手造りこんにやく	11		300	残り14個
28	黒大豆	40	300g	550	少ない	76	聖護院かぶ	10	大1個中2個	110	無し
29	さつまいも	38	1kg350円	200	多い	77	ミニカボチャ	10	大180円中150円小120円	140	残り14個
30	生椎茸(原木)	38	200g	450	無し	78	ルッコラ	10	100g	100	無し
31	南天	34		280	無し	79	卵	10	-	380	残り8個
32	しょうが(生姜)	29	200g~300g	210	残り23個	80	かき菜	9		130	無し
33	ねぎ	26	200g~250g	150	無し	81	ぶどう	9	100g 110円	2,280	無し
34	豆もち	26	-	700	残り34個	82	サラダ水菜	8	200g	150	無し
35	じゃばら	25	-	140	無し	83	鷹の爪	8	20g	180	非常に多い
36	ゆずジャム	24		280	残り4個	84	葉大根	8	350g	130	無し
37	キャベツ	23	1玉 約1キロ	230	無し	85	ピーマン	8	230g	130	無し
38	こんにやく	23	200g	240	残り13個	86	べんり菜	8	250g	120	無し
39	まいたけ	23		240	残り11個	87	坊ちゃん南瓜	8	大180円中150円小120円	230	残り14個
40	赤大根	22	2本	140	無し	88	梅干	8	-	380	残り11個
41	チンゲン菜	20	200g	130	無し	89	米	8	1kg630円~	1,360	少ない
42	ヤーコン	20	-	190	非常に多い	90	大豆	8	200g	280	多い
43	高菜	19	300g	140	無し	91	原木乾燥椎茸	8	-	830	多い
44	日野菜	19		170	無し	92	赤かぶ	7	2個~3個	160	無し
45	ぎんなん	19	200g	210	非常に多い	93	赤ばれいしょ	7		210	無し
46	カリフラワー	18		180	無し	94	ミニトマト	7	200g	150	無し
47	ぱぷ丸	18	150g	140	無し	95	ゆず味噌	7	-	330	残り14個
48	あん餅白	18		840	無し	96	イタリアンパセリ	6	50g	150	無し

売上状況の確認をしながらの出荷をお願いします。

【裏面に続く】



平均内容量はあくまでも参考としてください。

順位	商品名	数量	平均容量	平均単価	在庫	順位	商品名	数量	平均容量	平均単価	在庫
97	大かぶ	6	1個	170	無し	125	白菜漬	3	-	260	残り1個
98	おかわかめ	6	180 g	120	無し	126	フォックスフェース	3	-	140	残り3個
99	大根菜	6	350 g	110	無し	127	青大豆	3	500 g	400	残り1個
100	ブロッコリー	6	350 g	120	無し	128	月桂樹	2	-	150	残り3個
101	らっきょう	6	500 g	400	残り5個	129	ごぼう	2	100 g 60円	120	無し
102	ラディッシュ	6	150 g	140	無し	130	自然薯	2	-	380	多い
103	どくだみ茶	6	-	270	残り8個	131	まびき菜	2	250 g ~ 300 g	130	無し
104	花枝	6	1束	170	多い	132	山いも	2	-	390	多い
105	コシヒカリ	6	1kg660円~	1,970	少ない	133	やまのいも	2	-	500	多い
106	金時人参	5	500 g	280	残り1個	134	レタス	2	1玉 300 g 以上	90	無し
107	トマト	5	特大2 中3~4	350	無し	135	ローズマリー	2	50 g	110	無し
108	パセリ	5	80 g	130	無し	136	漬物	2	-	290	残り7個
109	パプリカ	5	100 g ~ 150 g	130	無し	137	干し柿	2	-	450	残り15個
110	よもぎ	5	80 g	70	無し	138	干しぶどう	2	-	600	残り10個
111	干し梅	5	-	580	多い	139	きぬむすめ	2	1kg630円~	2,100	か少ない
112	柚子餅	5	-	480	無し	140	くるみ	2	-	250	無し
113	なめこ	5	250 g	310	無し	141	原木生しいたけ	2	200 g	420	無し
114	安納芋	4	-	250	残り16個	142	あじみな(味美菜)	1	150 g	130	無し
115	京いも	4	-	400	無し	143	アスパラ菜	1	-	180	無し
116	セルリー	4	-	160	無し	144	青ねぎ	1	-	180	無し
117	バターナッツ	4	-	300	無し	145	コールラビ	1	-	160	無し
118	ビーツ	4	-	230	無し	146	聖護院大根	1	1個	140	無し
119	紅芯大根	4	2本~3本	160	無し	147	スイスチャード	1	100 g	90	無し
120	かぶら	3	大2個中3個	250	無し	148	ディル	1	-	130	無し
121	ケール	3	-	130	無し	149	乾燥バジル	1	-	180	少ない
122	紅心だいこん	3	-	140	無し	150	はやとうり	1	2個~3個	170	無し
123	そうめんかぼちゃ	3	1個	100	無し	151	しきび(はなえだ)	1	-	220	多い
124	黄な粉	3	-	250	残り13個	152	もち米	1	1.5kg	1,160	残り11個

出品数が減っています。少量でも構いませんので出品をお願いします。
必ず売上の確認をしながら出品をお願いします。



白菜、キャベツ、干し柿、じゃがいも、ブロッコリー、カリフラワー
かぶ、黒豆、青大豆、大豆をお持ちの方は出品をお願いします。



12月23日(月)の午前6時から午後6時までの高槻市の降水確率は10%です。

年末の集荷は12月29日(日)までおこないます。

12月28日(土)も集荷を行い配送を致しますので宜しくお願いします。

12月29日(日)の集荷分は守山店のみの販売とさせていただきますのでご了承ください。

真庭市場高槻店は12月30日(月)午後から新年1月3日(金)まで休みとさせていただきます。
まにわいちば守山店につきましては、年末年始と無休で販売します。

新年の集荷は1月3日(水)よりおこないます。

詳しくは XXXXXXXXXX 竹本までお問合せください。

4 広さと高度差を生かした市内外直売所間の流通

(株)オール真庭

参加している直売所(2021年度)

施設名

- ・ JA晴れの国岡山 きらめきの里
- ・ JA晴れの国岡山 コスモスの里特産品ふれあいセンター
- ・ 道の駅 醍醐の里
- ・ 道の駅 風の家
- ・ 八束ふるさとふれあい特産館
- ・ ひまわり館
- ・ 勝山農産物直売所 健康の里
- ・ 落合ふれあい即売センター (計8施設)

※市外として真庭市場 1号店(大阪府高槻市)、2号店(滋賀県守山市)

協議会

- ・ 真庭市が事務局となり、上記8施設、蒜山酪農協、真庭高校を構成員とする「真庭あぐりネットワーク推進協議会(以下、協議会)」を組織

所在地

岡山県真庭市(中間農業地域・田畑型)

売上高

計8.9億円(うち市内6.5億円、市外2.5億円)

運営組織

組織

株式会社オール真庭

所在地

岡山県真庭市

設立年

2016年

株主

十字屋グループ、真庭市、JA晴れの国岡山、蒜山酪農協、道の駅 醍醐の里、道の駅 風の家運営会社、八束ふるさとふれあい特産館、ひまわり館(計8社・団体)

スタッフ

23人(うち正規5人、パート18人)

主な事業

- ・ 直売所間流通の配送作業受託
- ・ 大阪府と滋賀県での真庭市産農産物販売
- ・ カット野菜・野菜苗の販売

所在地の農業

概況

- ・ 南北に長く多様な地形を生かした農業が営まれている
- ・ 南部の平坦地では、野菜、水田での水稻やぶどう等の果樹栽培、北部の蒜山高原では酪農が盛ん

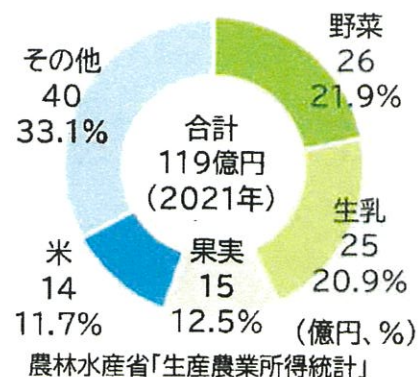
農業産出額

119億円

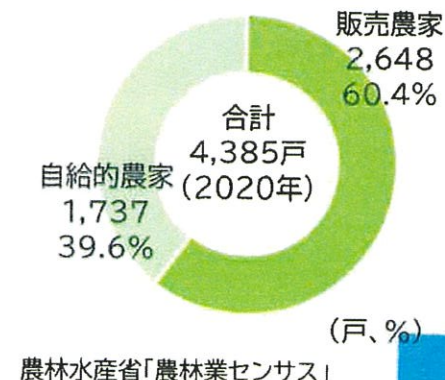
総農家数

4,385戸

農業産出額の構成



総農家の構成



①直売所の課題(なぜ始めたか)

- ・南北に長い地形を活かした品揃え
- ・豊作時に出荷が集中する農産物の廃棄防止
- ・出荷者の持ち込み負荷の軽減

【背景】

- ・以前から、複数の直売所の会員になっていれば直接持ち込むことで出荷することが可能だったが、出荷と引取のために1日2往復する必要があり、遠隔地の場合は時間がかかっていた。

②課題への対策(何をしているか)

- ・市内の直売所間連携(系統内外での連携)
- ・市内産商品の市外への販路拡大
- ・共同出資による別会社が配送を実施

業務フロー

- ・各直売所等が集荷拠点となっており、売り先の希望に関わらず、出荷者は基本的に最寄りの直売所(A直売所)に出荷。
- ・それを売り先の直売所(B直売所)までオール真庭が配送。B直売所が店頭で陳列し販売する。
- ・出荷者は、直接持ち込む直売所(A直売所)に加えて、販売する直売所(B直売所)の両方の会員になる必要がある。

市内直売所間流通のフローイメージ



出荷先の選定と売れ残りの扱い

- ・出荷者は最寄りの直売所のバックヤードに持ち込む際に、希望する出荷先別のコンテナに格納する。
※どの直売所で発行したバーコードでも任意の直売所で販売可能(店舗によってシールの色が異なる)
- ・オール真庭がコンテナで集荷し出荷先の直売所に配送する。
- ・売れ残った場合、予め返送の要望を受けたもの(特に加工品)は返送し、それ以外はポリバケツで保管し、市役所の資源回収場に持参したものを市が液肥化している。
- ・市外流通分は、青果物については店頭で陳列した日に売り切る方針で、予め出荷者の了解を得て、店舗の裁量で値引き販売を行っている(値引き後の価格で代金精算)。
※それでも売れ残った場合は、帰り便で引き揚げて、カット野菜に加工したり、液肥用にしている。

市内直売所間流通用コンテナ



農中総研撮影

集荷トラック外観



農中総研撮影

配送ルート

【市内流通】

- 土曜日を除く週6日、市内を南北に分けて、配送している。
- 北ルートは3か所を回り、1周1.5時間程度、1日2周。
- 南ルートは5か所を回り、1周1時間程度、1日2周。
- 1日1回、南北の中間に位置し、スペースのある直売所で、南北の集荷物の積替えを行っている。
- 保冷機能つき2トントラックを南北で1台ずつ使用している。

市内直売所間の配送ルート



Googleマップより作成

代金精算・手数料

【市内流通】

- A直売所で集荷しB直売所で販売した場合、B直売所が精算を行う。自店(B直売所)、A直売所、協議会の手数料を控除して、出荷者の口座に販売代金を振り込む。A直売所と協議会に手数料を振り込む。
- 直売所間流通を利用した商品と、そうでない商品の価格差で売れ残りが生じないような水準に手数料率を設定している。

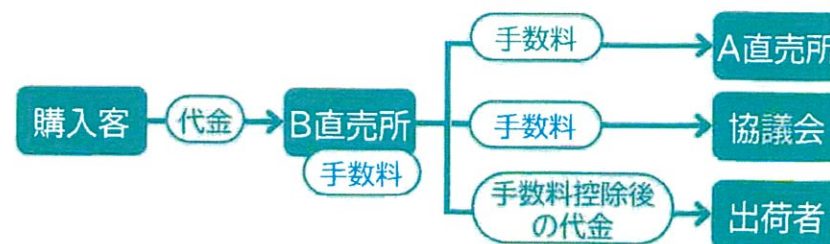
【市外流通】

- 手数料率は、運賃込みで、市内直売所間流通より高めに設定している。
- 販売代金から手数料を控除して、月1回、オール真庭から出荷者の口座に振り込んでいる。

【市外流通】

- 直売所のバックヤードに市外店舗での売れ行き情報を掲示。
- 市内流通と同様に、出荷者がバーコードを貼付して、真庭市場向けコンテナに格納する。市内直売所間流通と同じ便で、オール真庭が週6日集荷。
- 原則として、オール真庭が、各店舗での売れ行きをみながら高槻店と守山店のどちらで販売するか判断する。集荷の翌朝、高槻店と守山店向けに配送(物流会社に委託)。
- 市外店舗にはオール真庭のスタッフが常駐しており、売れ行き情報を真庭市内の仕分けスタッフ等と情報を共有している。

市内直売所間流通の手数料と代金精算



ヒアリングより作成

③成果(どうなったか)

【市内流通】

- 2021年度における8直売所の売上高は計6.5億円。
このうち、市内直売所間流通による売上高は1,300万円(合計の2.0%)。
- 市内直売所間流通による売上高は、2014年度の570万円から、8年間で2.3倍に増加している。品揃えが多様化することで集客効果やシナジー効果があるため、直接的な販売実績以上の効果がある。
- 出荷者からは、最寄り直売所に持ち込めば、運搬時間を増やさずに複数の直売所に出荷でき、販路を多角化できると好評。

【市外流通】

- 2021年度における市外直売所の売上高は2.5億円、このうち真庭市産は1.5億円。
- 出荷者からは販路が増えたと好評で、高槻店での売れ行きが好調であることを踏まえ、2019年に滋賀県守山市に新たに新店。

④取り組みの要点(何がポイントか)

要点1:地域性を踏まえた集荷ルート・頻度の設定

→南北での商品融通と物流距離の合理化

要点2:運営事務局の設置(データ管理含む)

→独立した事務局により主体の異なる店舗の連携を実現

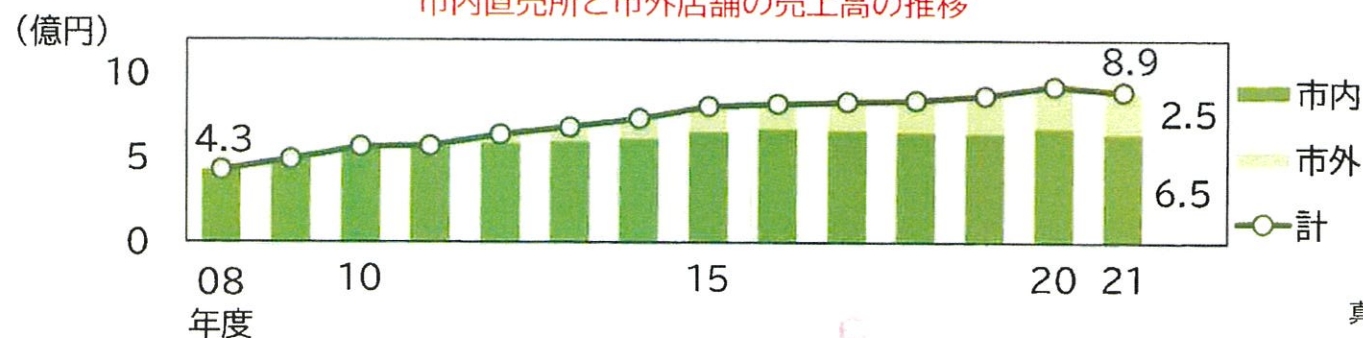
要点3:市外店舗とのリアルタイム情報の共有

→常駐スタッフによる細かな売れ行き・見込み情報の提供

⑤留意点(何に注意すべきか)

- POSデータで明らかになった「売れる品目」を生産に反映する仕組みが必要。
- 売れ残るリスクのため積極的な生産・出荷の提案が難しい。
- 手数料の不足分については自治体の補助が必要。

市内直売所と市外店舗の売上高の推移



真庭あぐりネットワーク推進事業

事業の目的

- 農畜産物の販路拡大による農家所得の向上と生産力強化
- 真庭の魅力発信による観光・交流の促進

事業の概要

○「まにわ園芸相談員」による営農指導
市とJAが連携して、園芸相談員を配置し、直売所出荷を始めとして、農産物の営農指導を行う。

○市内直売所間での農産物の相互輸送
南北に広がりのある市内の気候差を生かし、出荷時期の異なる農産物等を市内直売所間で積極的に交流させ、地の利を生かした地産地消を進める。

○『真庭市場』による販路拡大

大阪府高槻市及び滋賀県守山市に出店している農畜産物直売所「真庭市場」で京阪神への真庭産農畜産物の販売。（運営を行う法人への支援）

事業イメージ

